

◎ 展開する事業群(2-1-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野	①	保育・教育環境の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績
意見発表等の機会の充実	○「子どもの主張大会」の実施及び特集号の発行	学校教育	H22～26	H22年12月5日(日)田辺中央公民館で実施。発表者小、中学生12名。作品応募総数921名。参加者数約300名。
		社会教育 こども福祉		
☆16 ☆17 保育・教育内容や活動施設の充実(☆)	○保育内容の充実(保育所)	こども福祉	H22～26	公立保育所で保育・厨房備品を購入し、充実を図った
	○家庭支援推進保育事業(☆)	こども福祉		公立4保育所に 各1名の保育士配置
	○保育所園庭の芝生化	こども福祉		河原・草内各保育所で、園庭の芝生化を進めた
	○保育所、幼稚園、小・中学校等施設の計画的な改善(☆)	こども福祉		○保育所 河原保育所の園庭、来客用駐車場と園舎屋根の工事を実施
		教育総務室		○小学校 耐震補強工事に併せて、田辺小学校南校舎棟(西側)の大規模改修工事を実施した。田辺東小学校について、中校舎棟の改築工事を実施した。 ○中学校 田辺中学校中校舎棟について、改築工事を実施した。 ○幼稚園 田辺東幼稚園、三山木幼稚園の園庭整備を実施し、施設の維持管理及び教育環境の改善を図った。
	○図書館活動の充実 ・図書の充実 ・点字図書作成 ・手作りの本講習会等 ・移動図書館 ・障がいのある人への対面朗読等 (再掲2-(1)-⑤)	社会教育		市内20箇所のステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 20ステーションには2週間に1回、8学級には年5回巡回
	○子育てセミナー (再掲1-(1)-④、1-(2)-①、1-(3)-③、3-(1)-①)	社会教育		家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月10日参加者44人 地域子育てセミナー(6小学校)7事業 参加者388人
○特色ある園づくり(幼稚園)	学校教育	幼児が安定した情緒の下で自己を十分に発揮することができるよう発達に必要な体験を得るために「幼稚園キラ・ラ体験事業」を各幼稚園で実施した。		
学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	○特色ある学校づくり ・市研究指定校制度(学校改善) ・社会人講師の活用(地域人材の活用) ・総合的な学習の補助(消耗品の補助) (再掲3-(1)-⑤、3-(1)-⑥)	学校教育	H22～26	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。 講師等謝金 小学校397千円、中学校141千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者38人
	○進路指導の充実 ・職場体験学習	学校教育		各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。
国際化・情報化等の社会の変化に対応する教育の推進	○国際理解教育の充実 ・AETの活用(外国人による英語授業)	学校教育	H22～26	中学校にAET(英語指導助手)3名を配置し、英語授業の補助、英語クラブ、課外活動への補助などを行うとともに、小学校(1年生～4年生)及び幼稚園にも派遣し、英語活動を行った。 また、小学校(5・6年生)にAET1名を配置し、外国語活動を行った。
	○情報教育の充実① ・コンピュータ等の機器の充実	学校教育		小・中学校ではコンピュータ教室を整備して、合わせて400台を設置した。 中学校でもコンピュータ教室の機器の更新を行った。また、国のICT環境整備の事業により89台の大型デジタルテレビを幼小中に導入し、指導の効果を高めるICT活用が進んできている。 校務用パソコンが教職員に100%貸与されており、校務において非常によく活用されている。 教職員のICT活用能力も向上し、授業のための資料収集や教材作成、児童生徒の宿題等の作成に広く活用されている。
	○情報教育の充実② ・情報モラルやマナーの育成 ・情報通信ネットワークやコンピュータなどを積極的に活用する能力、態度の育成	学校教育		情報教育コーディネータの派遣により、貸与パソコンをはじめとするICT機器を常時快適に使うことができている。また、教職員の活用の増加に伴い、ソフトの使用法の相談も増えている。 夏期講座の開催や校内研修への講師派遣により、教職員のモラルやセキュリティ意識も向上し、児童生徒への指導にも役立っている。